



Volkswagen と NVIDIA、次世代自動車のラインナップに AI を導入 VW、I.D. Buzz で AI Co-Pilot 機能向けに NVIDIA の DRIVE IX テクノロジーを活用

米国ラスベガス – CES – 2018 年 1 月 7 日 -- Volkswagen と NVIDIA は本日、コックピットでの新しいのエクスペリエンスを生み出し、安全性を高めるため、NVIDIA DRIVE™ IX プラットフォームを利用して、AI とディープラーニングにより新世代のインテリジェントな Volkswagen 自動車の開発を進めるビジョンを発表しました。

CES 2018 の開幕前、Volkswagen の CEO であるヘルベルト・ディース (Herbert Diess) 氏と、NVIDIA の創業者兼 CEO であるジェンソン・ファン (Jensen Huang) は、AI がどのように自動車業界を変革しているかについて議論し、Volkswagen のアイコンックな名車、VW MicroBus が魅力的に甦った新たな I.D. Buzz について取り上げました。I.D. Buzz は、電気自動車として生まれ変わり、運転席と自動運転用の AI テクノロジーが組み込まれました。

ディース氏は次のように述べています。「AI によって自動車に革命的な変化が生じています。自動運転、排気ガスのない交通手段、デジタル ネットワーキングは、AI とディープラーニングの進歩がなければ、ほとんど不可能です。Volkswagen と AI テクノロジーのリーダーである NVIDIA の想像力を組み合わせることにより、未来に向けて大きな一歩を踏み出すことができます。」

ファンは次のように述べています。「数年もすれば、すべての新車には、拡張現実 (AR) に加えて、音声、ジェスチャー、顔認識のために AI アシスタントの搭載が求められるようになります。そして、Volkswagen と NVIDIA DRIVE IX テクノロジーの連携によって、これが実現します。Volkswagen は NVIDIA と共に、これまでのいかなる自動車よりも安全で、運転が楽しく、誰もが利用できる新世代の自動車を構築します。」

NVIDIA DRIVE IX Intelligent Experience プラットフォームは、AI 対応アプリケーションを作成するためのソフトウェア開発キットです。AI 対応アプリケーションには、自動車のロックを自動的に開閉するための顔認識、潜在的な危険についてドライバーに警告するための周辺環境認識、ユーザー操作のためのジェスチャー認識、正確な音声制御のための自然言語認識、ドライバーのわき見運転警告のための視線追跡などがあります。

Intelligent Co-Pilot 機能への注力

VW I.D. Buzz では、「Intelligent Co-Pilot」アプリケーションを作成するため DRIVE IX テクノロジーが利用されます。これには、自動車の内部と外部の両方から得られるセンサー データの処理に基づく便利な支援システムが含まれます。このシステムは、ソフトウェアの更新により自動車の全ライフサイク



ルを通じて拡張でき、自動運転に関する新たな発展が生じるのに応じて新しい機能を獲得できます。ディープラーニングにより、未来の自動車は、状況を正確に評価し、道路上の他者の行動を分析することを学び、適切な決定を下すことができるようになります。

自動運転へ向かう Volkswagen の道のり

I.D. Buzz は、Volkswagen が電気自動車キャンペーンを開始し、2020 年から自動運転を段階的に導入する I.D. ファミリー¹に属するモデルです。Volkswagen は、この分野で世界的リーダーになるという目標に向けて取り組んでおり、2025 年までに電気のみを動力とする 20 台超の自動車モデルが計画されています。

こうした新モデルは、まったく新しい MEB 自動車アーキテクチャーに基づいています。これは、排ガスゼロ、デジタル モビリティ、電気駆動の包括的なメリットの活用を一貫して目指しています。シャーシにフラットに統合されるバッテリーとコンパクトな駆動システムを利用することにより、広々として、柔軟にレイアウトを変更できる内装が実現します。この目的を達成するため、AR ヘッドアップ ディスプレーを採用する運転コンセプトなど、コンパクトな電気自動車セグメントの先進的なテクノロジーを利用できます。

MEB アーキテクチャーに基づくモデルは、当初から最新の支援システムを提供し、利用可能な各レベルの自動運転に対応します。MEB 電気システムは、MQB アーキテクチャーに基づく従来の運転システムを備えた自動車にも、段階的に導入される予定です。

両社のリーダーシップの認知

Strategy Analytics のディレクターであるロジャー・ランクトット (Roger Lancot) 氏は、次のように述べています。「NVIDIA は、最先端の GPU とクラウド コンピューティングを開発しているだけでなく、自動車の AI コンピューティングにおけるマーケット リーダーでもあります。NVIDIA と Volkswagen の提携によって、すべての人々が、このレベルの AI 機能を利用できるようになる可能性があります。魅力的な AI ユーザー インターフェース、自動運転機能を備え、ドライバーの安全性を向上した VW I.D. Buzz は、誰もが夢見る未来を予感させるものです。」

Volkswagen について

「We make the future real (当社は未来を実現する)」をテーマとする Volkswagen ブランドの乗用車は、世界中の 150 を超える市場で販売されており、同社は 14 か国の 50 を超える拠点で自動車を生産しています。2016 年に、Volkswagen は、Golf、Tiguan、Jetta、Passat などのベストセラー モデルを含む約 599 万台の自動車を生産しました。現在、Volkswagen は、世界中に 19 万 6,000 人の社員を擁しています。また、7,700 か所の販売代理店があり、7 万 4,000



人の従業員が働いています。Volkswagen は、自動車生産のさらなる発展により、常に前進し続けています。このブランドの E モビリティ、スマート モビリティ、デジタル変革は、将来に向けた重要な戦略的トピックです。

NVIDIA について

NVIDIA が 1999 年に開発した GPU は、PC ゲーム市場の成長に拍車をかけ、現代のコンピュータグラフィックスを再定義し、並列コンピューティングを一変させました。最近では、GPU ディープラーニングが最新の AI、つまりコンピューティングの新時代の火付け役となり、世界を認知して理解できるコンピューター、ロボット、自動運転車の脳の役割を GPU が果たすまでになりました。今日、NVIDIA は「AI コンピューティングカンパニー」として知名度を上げています。詳しい情報は、<http://www.nvidia.co.jp/> をご覧ください。

1. I.D.、I.D. CROZZ、I.D. BUZZ のコンセプト自動車は、これまでに市販されていないため、指令 1999/94 EC は適用されません。

本件に関するお問い合わせ先:

エヌビディア 広報/マーケティングコミュニケーションズ

中村かおり Emailアドレス: knakamura@nvidia.com TEL: 03-6743-8712

吉川香葉子 Emailアドレス: kyoshikawa@nvidia.com TEL: 080-8891-3352

エヌビディア広報事務局

株式会社イニシャル 中村・河村・大迫

Emailアドレス: nvidia@vectorinc.co.jp

Tel : 03-5572-6073 Fax : 03-5572-6065

本プレスリリースに記載されている記述の中には、将来予測的なものが含まれており、予測とは著しく異なる結果を生ずる可能性があるリスクと不確実性を伴っています。これには、NVIDIA と Volkswagen の提携のメリットおよび影響、AI がどのように自動車業界を変革し、自動車に革新的な変化をもたらしているか、新車における AI 支援のタイミングおよび機能、より安全で楽しい次世代の自動車の生産、Intelligent Co-Pilot 機能を含む新しい自動車テクノロジー システムの潜在的なメリット、パフォーマンスおよび機能、NVIDIA の Drive IX Intelligent Experience プラットフォームに基づいて将来の自動車で実現する AI 対応機能、電気自動車キャンペーンおよび 2020 年までの自動運転車の発売に関する Volkswagen のローンチ、投資および目標、MEB 自動車アーキテクチャーのメリットおよび機能に関する記述が含まれますが、これらに限定されません。かかるリスクと不確実性は、世界的な経済環境、サードパーティに依存する製品の製造・組立・梱包・試験、技術開発および競合による影響、新しい製品やテクノロジーの開発あるいは既存の製品やテクノロジーの改良、当社製品やパートナー企業の製品の市場への浸透、デザイン・製造あるいはソフトウェアの欠陥、ユーザーの嗜好および需要の変化、業界標準やインターフェイスの変更、システム統合時に当社製品および技術の予期せぬパフォーマンスにより生じる損失などを含み、その他のリスクの詳細に関しては、Form10 の 2017 年 10 月 29 日を末日とする四半期レポートなど、米証券取引委員会 (SEC) に提出されている NVIDIA の報告書に適宜記載されます。SEC への提出書類



は写しが NVIDIA のウェブサイトに掲載されており、NVIDIA から無償で入手することができます。これらの将来予測的な記述は発表日時点の見解に基づくものであって将来的な業績を保証するものではなく、法律による定めがある場合を除き、今後発生する事態や環境の変化に応じてこれらの記述を更新する義務を NVIDIA は一切負いません。

© 2018 NVIDIA Corporation. All rights reserved. NVIDIA、NVIDIA のロゴおよび NVIDIA DRIVE は、米国およびその他の国における NVIDIA Corporation の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有企業の商標または登録商標である可能性があります。機能、価格、可用性、および仕様は予告なしに変更されることがあります。